

あとがき

沖縄県では毎年6,000名以上の方が新たにがんの診断を受けていますが、がんに関する正確で十分な情報がいまだに届いていない現実があります。「患者必携;地域の療養情報」である本書は、そのような患者さんに、少しでも正確な情報をお伝えするために発行されました。また、国立がん研究センターがん対策情報センターが編集した「患者必携;がんになったら手にとるガイド 普及新版」および「患者必携;わたしの療養手帳」と共に使っていただくことを前提に編集しています。

本書は、試作版から継続して、沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会と琉球大学医学部附属病院がんセンターが中心となって作成されました。今回の第4版でも前版に引き続き「正確な情報を分かりやすくお伝えするとともに、利用して下さる方々の心の平安に少しでもつながる冊子に」というテーマで改訂を進めました。多くの箇所の見直しを図りましたが、特に2つの点に関して重点的に改定しました。第一に、「がんになったら手にとるガイド」との参照ページを増やし、心の問題を中心に2つの冊子がより連繋して使えるようにしました。第二に、患者さんからの要望を参考に、がんの体験談(コラム)を増やし、よりイメージが湧きやすく、親しみやすい冊子を目指しました。

今回も、多くのがん患者さんとそのご家族、国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部医療情報コンテンツ研究室室長渡邊清高先生を始めとする専門家の方々のご助言を頂きました。この場をお借りして関係各位に厚くお礼を申し上げます。

私たちは、引き続き本書を県民の皆さんと一緒に育てていきたいと考えております。「沖縄県がん対策推進計画(第2次)」でも、毎年1回の本書の改訂を目標としています。そのためにも、巻末のとじ込みはがきのアンケートにお応えいただき、ご意見を私たちに頂ければ幸いです。

本書が、少しでも沖縄県のがん患者さんとそのご家族にお役に立てますことを、編集委員一同祈念しております。

沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会
琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田 昌人

編集協力団体

沖縄県がん患者会連合会

公益財団法人 がんの子供を守る会 沖縄支部

沖縄県がん診療連携協議会

編集委員

望月 祥子 (社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院 医療ソーシャルワーカー)

富 永 尚 也 (編集協力者、がん経験者)

奥間かおり (独立行政法人国立病院機構沖縄病院 緩和ケア認定看護師)

永 吉 美 幸 (県立南部医療センター・こども医療センター 医療ソーシャルワーカー)

伊礼みゆき (居宅介護支援事業所なかがみ ケアマネジャー)

上 原 弘 美 (沖縄県地域統括相談支援センター ピアサポーター)

大久保礼子 (琉球大学医学部附属病院がんセンター 医療ソーシャルワーカー)

井 上 亜 紀 (琉球大学医学部附属病院がんセンター)

親富祖ちか (沖縄県福祉保健部医務課)

樋口美智子 (地方独立行政法人那覇市立病院 医療ソーシャルワーカー)

増 田 昌 人 (琉球大学医学部附属病院がんセンター 医師)

編集

写真 垂見 健吾

イラスト & デザイン 首里フジコ (インディ ボンド ネットワークス)

編集 波 平 雄 太 (office UNIZON)

ディレクション 三 枝 克 之 (office UNIZON)